



(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月12日

いわき市長 殿

提出者

住 所 いわき市泉町下川字大剣399-5

氏 名 荒川化学工業株式会社 小名浜工場
工場長 寺奥 裕記

電話番号 0246-56-7731

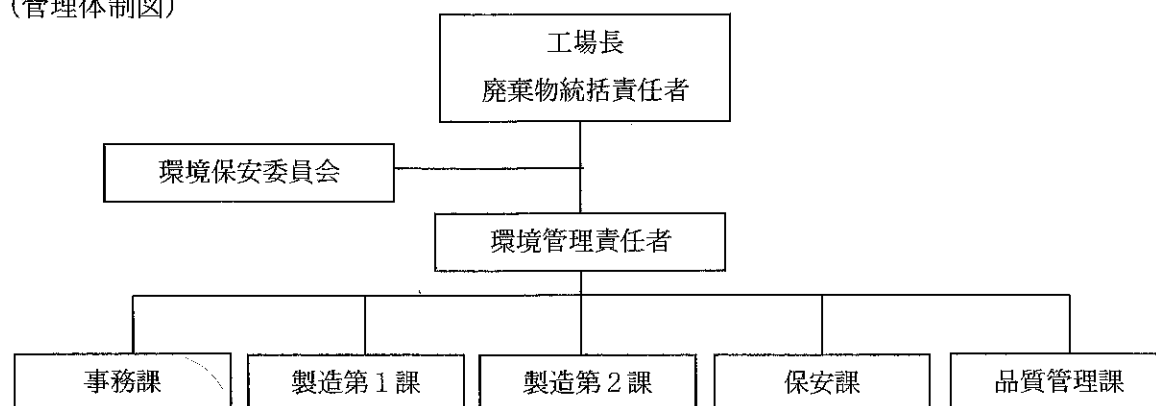
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	荒川化学工業株式会社 小名浜工場
事業場の所在地	福島県いわき市泉町下川字大剣399-5
計画期間	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	化学工業・他に分類されない化学工業製品製造業(1699)
② 事業の規模	製品24,307t(前年度販売実績)
③ 従業員数	87名(令和6年4月末現在)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙を参照 「産業廃棄物の一連の処理工程 前年度処理量実績」

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

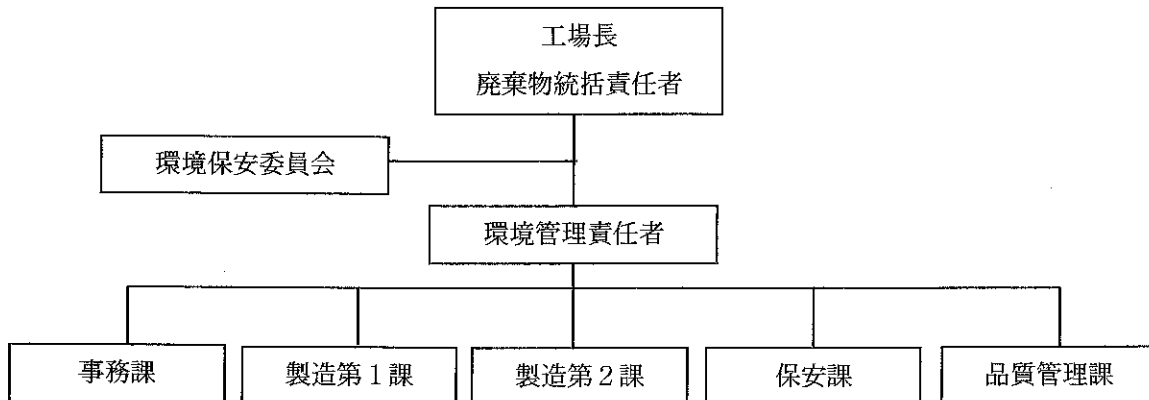
①現状	【前年度実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	廃酸及び廃アルカリ
	排 出 量	34 t	7 t
	(これまでに実施した取組) ◆廃プラスチック類 分別を行い再生可能なものは固形化燃料、路盤材料としてリサイクル ◆廃酸及び廃アルカリ 製造中に発生するもので、所定量の水を分離しなければ、製品の品質に影響を及ぼす為、発生量の抑制は難しい。廃アルカリはスポット発生		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	廃酸及び廃アルカリ
	排 出 量	40 t	10 t
	(今後実施する予定の取組) ◆廃プラスチック類 継続 ◆廃酸及び廃アルカリ 継続		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ◆廃プラスチック類：樹脂屑と他プラスチック類を分別し、路盤材料及び固形化燃料としてリサイクル ◆廃酸及び廃アルカリ：廃酸については自社にて焼却、廃アルカリは外部にて焼却処分される
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ◆廃プラスチック類：継続 ◆廃酸及び廃アルカリ：継続

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

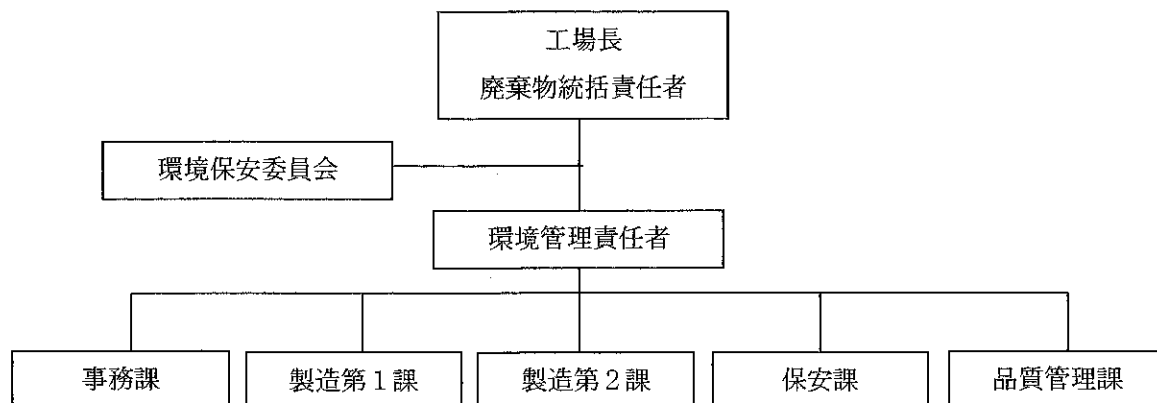
① 現状	【前年度実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	汚泥
	排 出 量	21 t	209 t
	(これまでに実施した取組) ◆廃油 洗浄溶剤の売却・再生 ◆汚泥 排水処理の凝集工程で、有機凝結を使用する事により無機凝集剤の使用量を削減し水酸化物汚泥の発生を低減。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	汚泥
	排 出 量	50 t	250 t
	(今後実施する予定の取組) ◆廃油 継続 ◆汚泥 継続		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ◆廃油：再生可能な洗浄溶剤を分別し売却・再生 ◆汚泥：なし
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ◆廃油：継続 ◆汚泥：継続

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	木くず
	排出量	1 t	63 t
	(これまでに実施した取組) ◆ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず 製品検査で使用・サンプル保管用のピンは可能なものは洗浄再使用 ◆木くず 再利用可能なものは修理しながら使用して再利用している		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	木くず
	排出量	1 t	70 t
	(今後実施する予定の取組) ◆ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず 継続 ◆木くず 継続		

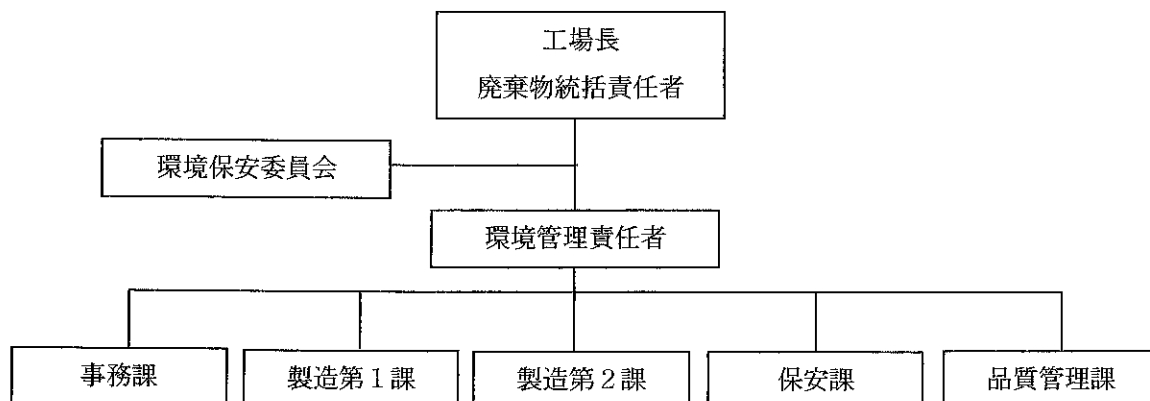
産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) なし
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) なし

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度実績】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん	水銀使用製品
	排 出 量	1 t	0 t
	(これまでに実施した取組) なし		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん	水銀使用製品
	排 出 量	1 t	1 t
	(今後実施する予定の取組) なし		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) なし
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) なし

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度実績】		
	産業廃棄物の種類	廃酸及び廃アルカリ	汚泥
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	1 1 4 5 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ◆廃酸及び廃アルカリ 有機性の廃酸を弊社で焼却処分		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃酸及び廃アルカリ	汚泥
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	1 2 0 0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ◆廃酸及び廃アルカリ 継続		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	廃酸及び廃アルカリ
	全 処 理 委 託 量	3 4 t	7 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	4 t	7 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	3 4 t	7 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
	◆廃プラスチック 一部を路盤材料へ、一部を破碎後に固形化燃料として再利用		
	◆廃酸及び廃アルカリ 処分業者にて焼却後、亜鉛を回収し有価物として再利用		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	廃酸及び廃アルカリ
	全処理委託量	40 t	10 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	10 t	10 t
	再生利用業者への 処理委託量	40 t	10 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ◆廃プラスチック 継続 ◆廃酸及び廃アルカリ 継続		
	※事務処理欄		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	汚泥
	全 処 理 委 託 量	21 t	209 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	21 t	169 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	21 t	209 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
	◆廃油 中間処理後、路盤材料・セメント原料としてリサイクル		
	◆汚泥 埋め立て処分していた汚泥をセメント原料としてリサイクル		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	汚泥
	全処理委託量	50 t	250 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	50 t	200 t
	再生利用業者への 処理委託量	50 t	250 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ◆廃油 継続 ◆汚泥 継続		
※事務処理欄			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	木くず
	全 処 理 委 託 量	1 t	63 t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	1 t	0 t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	1 t	63 t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
	・ガラスくず 中間処理後、路盤材料、ガラスウールなどにリサイクル		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	木くず
	全処理委託量	1 t	70 t
	優良認定処理業者への処理委託量	1 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	1 t	70 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・ガラスくず 継続		
※事務処理欄			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度実績】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん	水銀使用製品
	全 処 理 委 託 量	1 t	0 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1 t	0 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
	なし		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん	水銀使用製品
	全 処 理 委 託 量	1 t	1 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	1 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1 t	1 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) なし		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙

